

週間漁海況情報 2026年第5号

令和8年2月3日発行

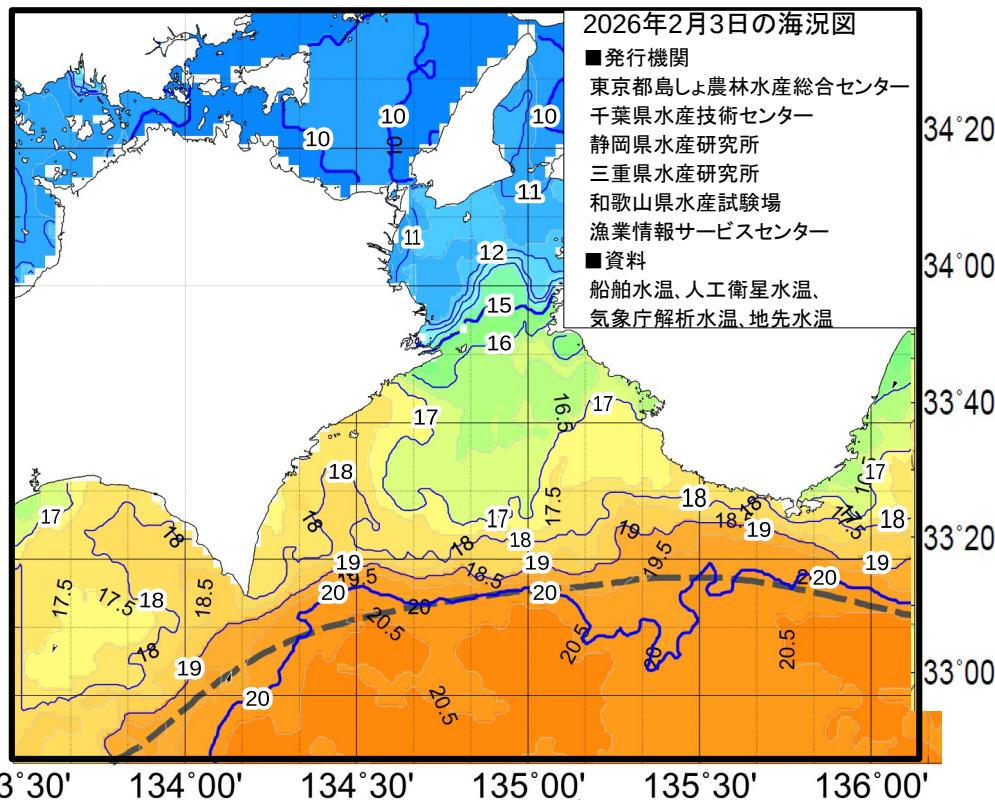
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

海況

1. 周辺海域の水温等

紀伊水道沖の黒潮は、室戸岬沖25マイル付近、潮岬沖20マイル付近を流れ、室戸岬で「やや離岸」、潮岬で「接岸」している。

黒潮の表面水温は19~20°C台。徳島周辺海域の表面水温は、播磨灘で9~10、紀伊水道で10~15、海部沿岸で16~18°C台となっている。



※黒潮の離接岸の表現

室戸岬沖 接岸: ~25NM やや離岸: 25~45NM 離岸: 45~65NM 著しく離岸: 65NM~
潮岬沖 接岸: ~26NM やや離岸: 26~56NM 離岸: 56~86NM 著しく離岸: 86NM~

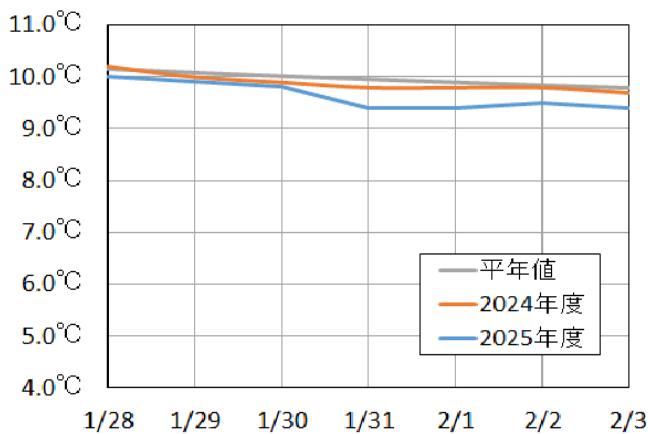
※図中の破線は黒潮の北縁を示しています。

直近4日分の海況図を水産研究課HPに掲載しています。

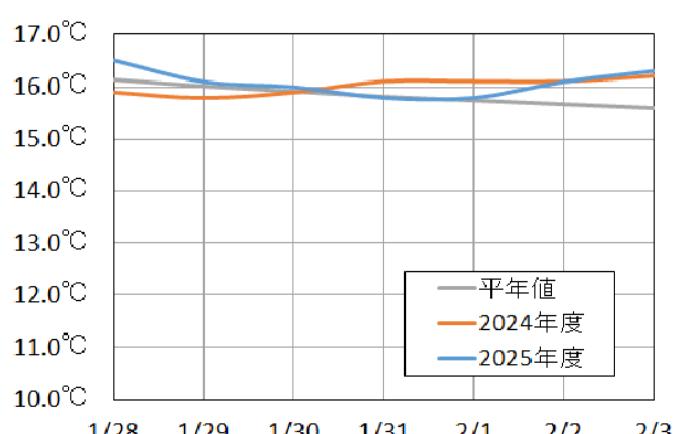
2. 地先水温(1月28日~2月3日)

鳴門地区の水温は、10.0~9.4°Cで「平年並み」で推移。浅川地区は、16.5~15.8°Cで「平年並み」で推移。鳴門と浅川地区の水温差は、6.2~6.9°Cだった。

鳴門地区



浅川地区



※水温の高低 平年並み: 平年値±0.5°C未満、やや高め/やや低め: 平年値±0.5°C以上1.5°C未満
高め/低め: 平年値±1.5°C以上2.5°C未満、かなり高め/かなり低め: ±2.5°C以上

※ 平 年 値 1984年~2022年(鳴門)、2018年~2022年(浅川)の平滑平均値(いずれも日平均水温を使用)

3. 週間予報(2月4日~2月10日)

黒潮は、室戸岬沖で「やや離岸」、潮岬沖で「接岸」して推移する見込み。

地先水温は、鳴門、浅川地区とも「平年並み」で推移する見込み。

漁況 (1月26日～2月1日)

1. 紀伊水道 (標本漁協: 4)

船びき網では、シラスが増えて8.7トン水揚げされた。

延縄では、あまだい類が0.7トン、ブリが増えてめじろ級主体に0.5トン水揚げされた。

底びき網では、シリヤケイカが大きく増えて8.2トン水揚げされた。

建網では、カワハギが増えて大主体に0.6トン水揚げされた。

小型定置網では、マアジが豆あじ級主体に2.7トン、ヒラメが大主体に0.4トン、

カワハギが大主体に0.3トン水揚げされた。

2. 海部沿岸 (標本漁協: 4)

小型定置網では、アオリイカが増えて1トン水揚げされた。

大型定置網では、マアジが大きく増えて0.5トン、マルアジが大きく増えて0.4トン、

ウルメイワシが大きく減って小主体に0.3トン水揚げされた。

漁獲量集計表 (漁獲量が0.3トン以上のものを抜粋)

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	(kg)	銘柄	前週比※
					1日1隻あたり 平均漁獲量		
紀伊水道	船びき網	21	シラス	8,748	417		↗
	延縄	73	あまだい類	730	10		→
		29	ブリ	547	19	めじろ級主体	↗
	底びき網	34	シリヤケイカ	8,231	242		↗↗
	建網	47	カワハギ	632	13	大主体	↗
	小型定置網	27	マアジ	2,654	98	豆あじ級主体	→
		29	ヒラメ	395	14	大主体	→
		29	カワハギ	318	11	大主体	→
海部沿岸	小型定置網	68	アオリイカ	1,043	15		↗
	大型定置網	6	マアジ	468	78		↗↗
		6	マルアジ	433	72		↗↗
		6	ウルメイワシ	321	54	小主体	↘↘

※ 前週比 200%以上:↗↗ 120-200%:↗ 80-120%:→ 50-80%:↘ 50%未満:↘↘